

講義名	対) リスクマネジメント論		
担当教員	持田 信治		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

本講義の主題は大学のディプロマポリシーに沿って、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決策の提案ができるようになることである。具体的には、本講義は企業活動に於けるリスクマネジメントの基本と手順の理解を深めることを主題とする。企業経営には様々なリスクが存在する。また業務遂行に於いて最も重要な事項にスケジュール管理とリスクマネジメントがある。そこで本講義ではリスクとは何かを解説した後、リスクの評価とリスクを回避する方法について解説を行う。本講義の主題はリスクマネジメントとは何を行うことかを理解することである。そしてリスクの分類、評価、対応について具体例を用いた説明を行う。

到達目標

以下を本講義の到達目標とする。

- 1) 企業経営に於けるリスクマネジメントの基本的な考え方が説明できるようになる。
- 2) リスクマネジメントの内容とリスクマネジメントのポイントを説明できるようになる。

提出課題

講義の終わりに当該講義に関する小テストを行うことがある。また、講義内容に関するレポートの提出を要求することがある。小テスト及び課題の提示と回収はRESPONにより行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

（対面講義の場合）
 課題の解説や質問に対しては、必要に応じて次の講義で解説と説明を行う。
 小テスト及び課題の提示はRESPONにより行う。
 （オンデマンド講義の場合）
 課題の解説や質問に対しては、講義ビデオ内で説明を行う。
 小テスト及び課題の提示はRESPONにより行う。
 オンデマンドの場合には必要に応じてメールで質問を受ける。

評価の基準

（対面講義の場合）
 (1) 評価は講義への参加度合いと課題の提出状況により算出する。
 (2) 授業参加度50点、小テスト又は課題50点で評価する。
 (3) 課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。
 (4) 授業参加度の確認と小テスト及び課題の提示と回収はRESPONにより行う。
 （オンデマンド講義の場合）
 (1) 評価は授業参加度と小テストや課題の提出状況により算出する。
 (2) 授業参加度50点、小テスト又は課題50点で評価する。
 (3) 課題やコメントについて自主学習が認められる場合には特に評価する。
 (4) 授業参加度の確認と小テスト及び課題の提示と回収はRESPONにより行う。

履修にあたっての注意・助言他

- (1) 授業の運用方法、評価基準、受講ルール等の重要事項を初回の授業で説明するので、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。
- (2) 対面講義においてはノート、筆記用具を準備しておくこと。
- (3) 対面講義においては講義中の私語、飲食、カバンや飲食物を机上に並べること及び途中入室、途中退室、携帯電話の使用は厳禁とする。ルール違反者は厳重に対応する。場合によっては退室を命じることもある。
- (4) 対面講義においては質問を行う等の積極的な参加を期待する。オンデマンドの場合にはメールにて質問を受け付ける。
- (5) ポータルに資料がUPされている時は事前に確認しておくこと
- (6) 講義への積極的な参加を希望する、また講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

教科書					
.使用しない。					

プリント資料及び参考文献

必要に応じて、教材をポータルにUPする。
 参考文献は適宜紹介する。

授業計画

第1回 リスクとは
 第2回 リスクの概念
 第3回 社会のなかのリスク
 第4回 リスクと事故発生メカニズム
 第5回 リスクマネジメントの基本
 第6回 プロジェクトとリスクマネジメント
 第7回 ヒューマンエラーとリスクマネジメント
 第8回 危機管理と内部統制
 第9回 要因分析の方法の基本
 第10回 定性的リスク分析
 第11回 定量的リスク分析
 第12回 リスク管理表と対策の立案
 第13回 インシデント管理
 第14回 リスクと課題について
 第15回 リスクマネジメントのまとめ

新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には講義を記録したビデオと課題による授業を行い、オンデマンド講義への移動は行わない。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（対面講義の場合）
 シラバスに従った学習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。講義の参加に当たって、予習2時間と復習に2時間の自己学習が必要である。当該講義及び前回の講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に復習を行うこと。講義に関連した小テストや課題は講義では説明をしていない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。
 （オンデマンド講義の場合）
 シラバスに従った学習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。講義の参加に当たって、予習2時間と復習に2時間の自己学習が必要である。講義に関連した小テストや課題は講義では説明をしていない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

リスクマネジメントを含むマネジメント力や問題解決力は現代の企業経営に不可欠であり、マネジメント力や問題解決力は現代の企業経営の根幹に不可欠である。従って、本講義を履修することにより大学のディプロマポリシーに於ける、企業経営や組織行動に従って発生する課題や問題に対する、具体的な改善策や解決策の提案能力を身に付けることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
 過去のプロジェクトマネージャとしての実務経験に基づき、企業活動に於けるリスクマネジメントのポイントを解説する

備考

問題意識を持って講義に参加すること。
 新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には講義を記録したビデオと課題による授業を行い、オンデマンド講義への移動は行わない。